



航空写真



— 下野市(しもつけし)について —

下野市は、平成18年1月10日に下都賀郡石橋町、下都賀郡国分寺町、河内郡南河内町が合併してできた、面積74.59km²、人口約6万の市です。



市の木 けやき



市の鳥 うぐいす



市の花 ゆうがお

目次

わがまちプロフィール	1
歴史と史跡	
・下野薬師寺周辺	3
・下野国分寺周辺	9
・下野石橋周辺	15
施設	17
歳時記	21
地域医療と先進医療	24
地産地消	25

市民憲章

わたしたちの郷土 下野市は、姿川と田川が生んだ豊かな土壌と、水・ひかり・風のおだやかな自然環境に恵まれています。

先人達は、ここに美しい田園の景観や古い歴史と伝統をはぐくみ、継承してきました。

わたしたちは、このふるさとを愛し、薫り高い文化を育て、住みよい田園都市をめざして、ここに憲章を定めます。

- 1 自然を大切にし みどりあふれる美しいまちをつくります
- 1 いのちを尊び 心の通う明るいまちをつくります
- 1 みんなで学びあい 文化のかおるまちをつくります
- 1 働くことをよろこび 暮らし豊かなまちをつくります
- 1 力をあわせ 夢がひろがるたのしいまちをつくります

地勢

下野市は、栃木県の中南部に位置し、都心から約85km圏にあり、首都圏の一端を構成しています。

南北約15.2km、東西約11.5kmで、北は県庁所在地の宇都宮市、南は小山市、東は真岡市と上三川町、西は栃木市と壬生町に接し、面積は74.59km²です。

東に鬼怒川と田川、西に思川と姿川が流れる高低差の少ない肥沃な土地は、古代から開けた自然災害の少ない地域で、JR宇都宮線の自治医大駅を中心にニュータウンが拡がり、小金井や石橋の旧宿場町と4本の河川の流域の田園地帯とで下野市を構成しています。

歴史と文化

下野市には旧石器時代から生活の痕跡があります。古墳時代には有力な豪族が現れ、豊かな勢力基盤を背景に多くの大型古墳が築造されました。7世紀末には、日本三戒壇の一つとなる下野薬師寺が建立され、8世紀には聖武天皇の詔により下野国分寺・国分尼寺が建立され、古代東国地方の仏教文化の中心地として栄えました。

中世武士団の時代には、見山城や箕輪城、薬師寺城が築かれました。江戸時代には日光街道の宿場町として繁栄し、近代になると国道や鉄道の整備により物流の要衝として発展してきました。

産業

下野市の主要産業は、農業・商業・製造業です。農業は首都圏に位置する立地条件を生かし都市近郊農業が発達し、農業生産産出額は野菜、米、畜産の順で、かんぴょうの生産量は、全国一を誇っています。

商工業は、地理的な優位性や交通条件を生かした産業の振興に努めています。

福祉・健康

地域保健福祉センターを拠点にしたトレーニング事業や生活習慣病予防、介護予防等の教室が充実し、各種スポーツ教室やスポーツ大会を多数開催しています。

子育て支援の取り組みとして、こども医療費助成の対象を中学3年生まで拡大し、県内の医療機関においては現物給付も中学3年生までとしました。妊産婦検診の助成も5回から14回に拡大しました。また、高齢者や障がい者が安心して暮らせるための支援や相談事業が充実しています。

生涯学習と文化講座

学習の機会、情報の提供や公民館活動を推進し、市民の学習ニーズに対応しています。多様化する学習意欲に応え元気の出るまちづくりを推進するため、生涯学習ボランティアバンクを設置しています。生涯学習ボランティアバンクには、様々な知識や経験、優れた技能や技術を持った方が生涯学習指導者として登録されています。

スポーツ面では、各種スポーツ教室や大会などを開催しているほか、総合型地域スポーツクラブが設立され、定期的なスポーツ活動が可能で、楽しく充実したひと時を過ごす仲間が得られるなど生涯スポーツを実践できます。

あんしんな地域医療

下野市の特徴の一つに医療施設が大変充実していることがあげられます。

下野市では、全国屈指の高度医療の集積が進んでいる自治医科大学及び高度の医療施設及び設備を整えた同附属病院を拠点とし、その周辺を高度医療集積拠点と位置づけ、各医療機関と連携する中で、医療機関や地域保健福祉拠点がバランスよく立地する地域医療の充実した地域です。